

民主党・無所属の会

高木 まり

市政レポート (2009年8月号)

発行所: 高木まり事務所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-19

TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail: takagi@marit.jp

高木まり
プロフィール

1967年生まれ
東京大学法学部卒
東京銀行勤務
枝野幸男秘書を経て
2003年さいたま市議会議員
初当選 現在2期目
<http://www.marit.jp>



清水新市長に問う「市民の声が届く市政にするために」

～6月議会一般質問にて～

5月27日に清水はやと新市長が誕生しました。我が会派、民主党・無所属の会は、市長選において新市長を応援しましたが、議会運営においては、地方議会の本旨である二元代表性の理念に則り、大いに提言すると同時に、厳しいチェックを行う所存です。高木まりは6月議会にてこのことを冒頭表明し、新市長の市政にかける思いについて質問を行いました。



高木

市民の声が届く市政にするために、市長はどのように取り組むか？

市長

とにかく全力で市民の声を聞くための諸施策に取り組む。市民が主役のさいたま市づくりの基盤として「自治基本条例」を市民参画で制定することを始め、日本一を目指した情報公開で土台をつくり、また、「徹底した現場主義」で、市民(タウンミーティング4年で80回/現場訪問4年で400回/学校訪問全校)の声を聞いていく。

高木

政令市化のメリットを市民が感じるには、更なる区役所改革が必要では？

市長

区役所の機能強化が必要。区民会議、コミュニティ会議の活性化や全ての窓口業務が区役所で行えるようにするため、区長への権限移譲など区役所のあり方について、検討委員会を早急に設置して検討する。また、第1弾として、市民をたらい回しにせぬよう、区長直轄の「くらし応援室」を設置する。

6月議会は、議会の一部勢力が市長に主導権争いをしかけた影響などで、荒れた議会展開になりました。市長が新しく任命しようとした教育委員や監査委員の議案に対し、自・公・共の各会派が、異例の委員会付託を行ったにもかかわらず、ほとんど質問もせぬまま審議を後回しにしようしたり、市長マニフェストを具体化させた2議案(市長任期の3選自粛条例案・市長退職手当の減額条例案)を最終的に閉会中継議案とするなどしました。

9月議会は、9月2日から始まる予定ですが、現在空席の副市長人事、同じく市長マニフェストの「サッカープラザ白紙撤回」をめぐる議案などで、激しい攻防が予想されます。市民の声がどこにあるのか、また、長期的な視点で何が最もさいたま市に必要な政策なのか…これらをしっかりと見きわめて、議会での対応にのぞみたいと思います。

【北区の病院問題についても質問】

Q: メディカルセンター閉鎖後の大宮北部の医療の安心について、市民の関心は高い。社会保険大宮総合病院の存続問題と、プラザノース北側の移転用地とも言われる土地について、最新状況はどうか。

A: 今年3月に国が社会保険病院の譲渡の方針を示したので、早期に譲渡対象に選定されるよう、6月10日に厚生労働大臣あてに再度要望書を提出した。プラザノース北側の市有地は、社保大宮総合病院が新たな法人により改築する場合の候補地の一つと考えている。